5-2　施策・事業内容（案）

基本方針Ⅰ｜誰もが手軽にいつでも利用できる地域公共交通

目標１｜都市の骨格を形成する幹線交通のサービスレベルの維持・向上

取組の方向性	幹線交通のサービス維持・強化

施策	幹線交通の利便性の維持・向上【鉄道、路線バス（地域・地区間を結ぶ路線）】

事業

①利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保

本市の玄関口となる倉敷地域と水島・児島・茶屋町等の各地域・地区や、水島地域と玉島地域など、地域・地区間を結ぶ鉄道・路線バス（幹線）について、財政支援等も行いながら利便性の高い運行時間帯・運行回数を確保（下表の運行水準を最低限確保）することで、都市の骨格を形成する幹線交通のサービスレベルの維持・向上を図ります。

利便性の高い運行回数※

朝（始発～10時台） 夕（16～20時台）	1時間あたり2便以上
その他の時間帯	1時間あたり1便以上
合計	1日あたり26便以上

※往復運行で1便

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②鉄道施設等の適切な維持管理

老朽化が進む橋りょう等の鉄道施設について、耐震化や長寿命化等の維持管理を適切に推進することで、安全・安心な輸送環境を維持するとともに、将来的な維持管理費用を低減し、持続可能な幹線交通サービスを構築します。

橋りょうの長寿命化

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

目標２｜地域の多様な輸送資源等の活用による持続可能な移動手段の確保

取組の方向性	移動手段の選択肢の多様性の確保

施策１	支線交通の利便性の維持・向上【幹線以外の路線バス、コミュニティタクシー、一般タクシー】

事業

①運行時間帯、運行回数の確保

幹線交通との接続性を考慮した運行時間帯、運行回数を確保（下表の運行水準を最低限確保）することで、支線交通の利便性の維持・向上に努めます。

幹線交通との接続性を考慮した運行回数※

朝（始発～10時台） 夕（16～20時台）	1時間あたり1便以上
その他の時間帯	2時間あたり1便以上

※往復運行で1便

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②コミュニティタクシー制度の普及

移動手段の選択肢を増やし、誰もがいつでも手軽に移動できる環境の実現に向け、利用料金の割引や運行支援等を推進し、現行のコミュニティタクシー制度の普及・促進を図ります。

コミュニティタクシーの周知チラシ

コミュニティタクシー車両

関係主体	市民、交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

③タクシーを活用した新たなサービスの検討

特定エリア内におけるタクシーの相乗りサービス（定額料金を乗車人数で按分するサービス）制度等、タクシーを活用した新しいサービスの導入・普及について検討します。

倉敷タクシー（株）によるタクシー相乗りサービス

羔高小学区と**川崎医大付属病院**間のタクシー料金を５，０００円定額
タクシーを一度に数名で利用することで、通常よりも**安く通院**できます。
またご利用の際は、ご自宅まで送迎いたします。

＜ご利用時の料金シュミレーション＞

羔高小学区 ⇔ 川崎医大付属病院　定額片道料金 5，000円を按分する

2名乗車　1人当たり料金 2，500円

3名乗車　1人当たり料金 1，670円

4名乗車　1人当たり料金 1，250円

（料金の 10円以下は四捨五入になります。また1名様の場合は通常のメーター料金になります。）

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	地域の移動を支える担い手の確保と育成

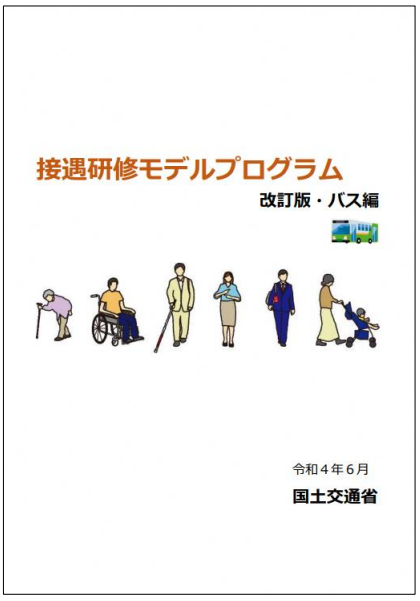
事業

①安定した担い手確保と育成

人口減少・少子高齢化が一層進行する中で、地域公共交通を維持していく上で欠かせないドライバー等の安定的な確保・育成に向け、運転免許取得に係る補助制度や接遇研修を実施します。

接遇研修の様子

資料：両備グループHP



資料：国土交通省　交通事業者向け接遇研修モデルプログラム

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

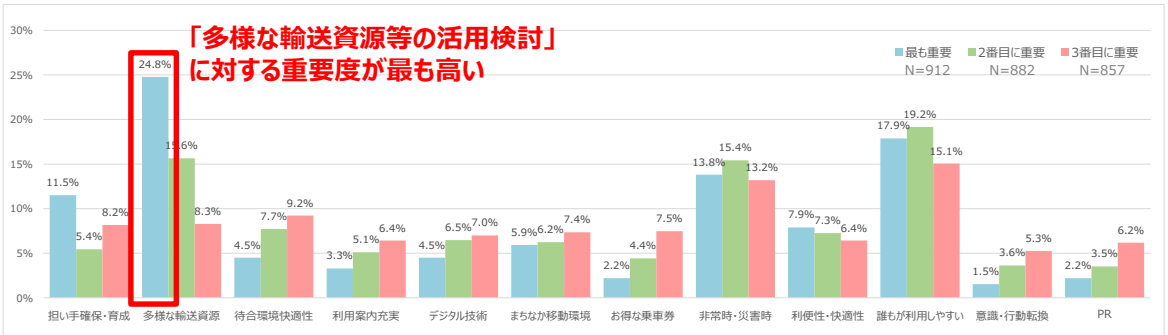
施策３	地域の多様な輸送資源等の活用に向けた検討

事業

①多様な輸送資源に関する情報収集及び活用の検討

人口減少・少子高齢化等に伴うドライバーや車両不足が深刻化する中で、持続可能な移動手段を確保するため、既存の鉄道、路線バス等の公共交通機関だけでなく、福祉輸送、スクールバス、施設送迎サービス等の地域の多様な輸送資源の利活用について検討します。

公共交通の維持・利便性向上に向けた取組みの重要度



資料：公共交通に関するアンケート調査結果（R4）

関係主体	地域企業、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

基本方針Ⅱ｜地域をつなぎ円滑な移動を支える地域公共交通

目標３｜主要駅等における交通結節機能の強化

取組の方向性	交通結節点の環境整備

施策１	多様な交通モードの連携強化
事業	**①広域拠点の整備・改善** JR西日本（倉敷駅）・水島臨海鉄道（倉敷市駅）相互の乗り継ぎ利便性の向上、JR倉敷駅付近連続立体交差事業とあわせた駅前広場の利便性向上等により、交通結節機能を強化します。

現在のJR倉敷駅⇔倉敷市駅の様子

駅前広場の整理イメージ

資料：倉敷駅周辺総合整備計画（平成29年3月）

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②多様な交通モードを利用しやすい環境の整備

事業者間における接続ダイヤの検討、共通定期券の発行、企画乗車券等における利用可能路線の拡大等により、多様な交通モードを相互に利用しやすい環境を整備します。

交通機関同士のスムーズな乗り継ぎに関するイメージ図

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

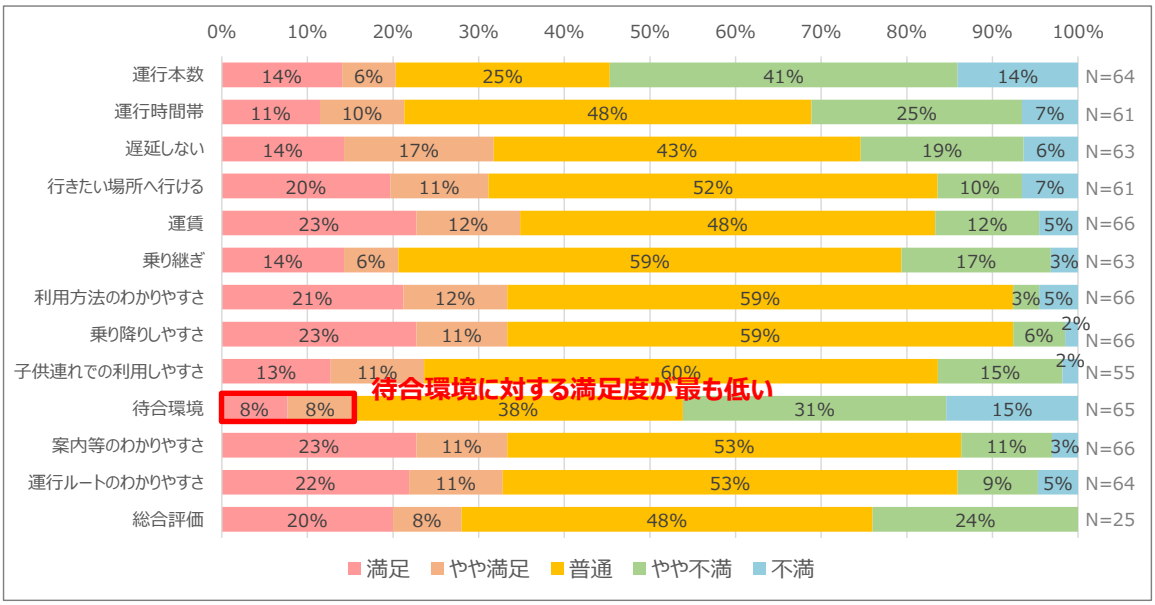
施策２	鉄道駅やバス停留所の待合環境の快適性・利便性の向上

事業

①快適・便利に過ごせる交通結節点の整備

駅の自由通路の美装化や、主要なバス停における上屋・ベンチ設置等の待合環境の改善等により、快適に過ごせる交通結節点の整備を推進し、公共交通を利用しやすい環境づくりに努めます。

バスによる移動の満足度



資料：公共交通に関するアンケート調査結果（R3及びR4の合算値）

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②サイクル＆ライド自転車等駐車場の利用促進

ファースト・ラストワンマイルを担う自転車と、鉄道、路線バス等の公共交通との接続性を高め、公共交通にアクセスしやすい環境構築に向け、駅やバス停に隣接する自転車等駐車場の美化や放置自転車撤去等により、サイクル＆ライド自転車等駐車場の利用を促進します。

駐輪場の美化・放置自転車撤去に関する写真

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

目標４｜最新のデジタル技術等を活用した円滑な乗り継ぎ環境の実現

取組の方向性	乗り継ぎに関する情報提供の充実、利便性向上

施策１	交通結節点における利用案内等の充実
事業	**①円滑な乗り継ぎに資する情報提供** のりば案内看板等の改善（乗継先乗り場の案内、乗継経路の表示等）や総合時刻表・乗換時刻表の作成等により、交通結節点における利用案内等を充実させ、円滑な乗り継ぎ環境を実現します。

JR倉敷駅の案内看板

床面サインによる乗継案内

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	デジタル技術活用等による乗り継ぎ利便性の向上
事業	**①キャッシュレス決済の導入検討** 全国的に広く普及している交通系ICカードや、訪日外国人に向けたQRコード決済サービスの導入、ICカード利用時の各種割引制度等、乗り継ぎ利便性を高めるキャッシュレス決済の導入を検討します。

ICカードの利用イメージ

QRコードによる決済イメージ

資料：キャッシュレスパンフレット（経済産業省）

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	デジタル技術活用等による乗り継ぎ利便性の向上
事業	**②乗換・経路検索手段の充実** 公共交通乗換情報案内システムの導入検討や、運行ダイヤ、乗降場所等のGTFS化推進等により、乗継情報・遅延情報等を利用者にリアルタイムで提供できる環境を整備することで、乗換・経路検索等の利便性を向上します。

GTFS化による経路検索の利便性向上

Google マップの検索結果画面（iOS アプリ版）

資料：両備グループHP

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

基本方針Ⅲ｜市民の豊かで安全･安心な暮らしを支える地域公共交通

目標５｜市民等の活発な交流による「まち」の賑わい創出

取組の方向性	外出促進や交流による「まち」の賑わいの創出

施策１	まちなかにおける移動環境の向上
事業	**①中心市街地等における移動しやすい環境の整備** 移動ニーズに対応したバス路線展開の検討や、倉敷駅付近連続立体交差事業とあわせた倉敷駅周辺の周遊性向上等により移動しやすい環境整備を推進し、市民や来訪者が集い、活発な交流が生まれる「まち」を目指します。 **中心市街地等における移動しやすい環境のイメージ** **関係主体**：交通事業者、岡山県、倉敷市 **実施期間**：令和５年～令和９年

施策２	お得なチケット等による公共交通を利用した外出の促進

事業

①交通事業者が連携した企画乗車券の販売

スーパーホリデーパスの発行や環境定期券の利用促進等、公共交通をお得・便利に利用できる企画乗車券の販売により、休日の外出等において「選ばれる公共交通」を目指します。

スーパーホリデーパス

資料：井原鉄道HP

環境定期券のイメージ

資料：京都市交通局HP

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②交通サービスとその他サービスの連携による利用促進

生活支援等と関連したタクシー利用促進策の検討や、沿線の商業施設や観光地等と連携したお得なチケットの販売と情報発信により、交通サービスとその他サービスを一体的に提供することで、公共交通を利用した外出を促進します。

沿線商業施設と連携した公共交通の利用促進

資料：両備グループHP

関係主体	地域企業、交通事業者
実施期間	令和５年～令和９年

目標６ ｜ 災害発生時等における安定したサービスの提供

取組の方向性	非常時・災害時に備えた体制づくり

施策１	非常時・災害時における利用者への情報提供

事業

①情報提供方法・連携体制の検討

近い将来の発生が危惧される南海トラフ地震や近年、頻発・激甚化する豪雨災害等、災害発生時における公共交通の運行情報、避難行動等の際の活用方法等、非常時・災害時における利用者への情報提供方法について検討するとともに、交通事業者間の連携体制を構築します。

災害時における連携体制の構築

災害発生時の情報提供に関する事例
災害時における連携イメージ

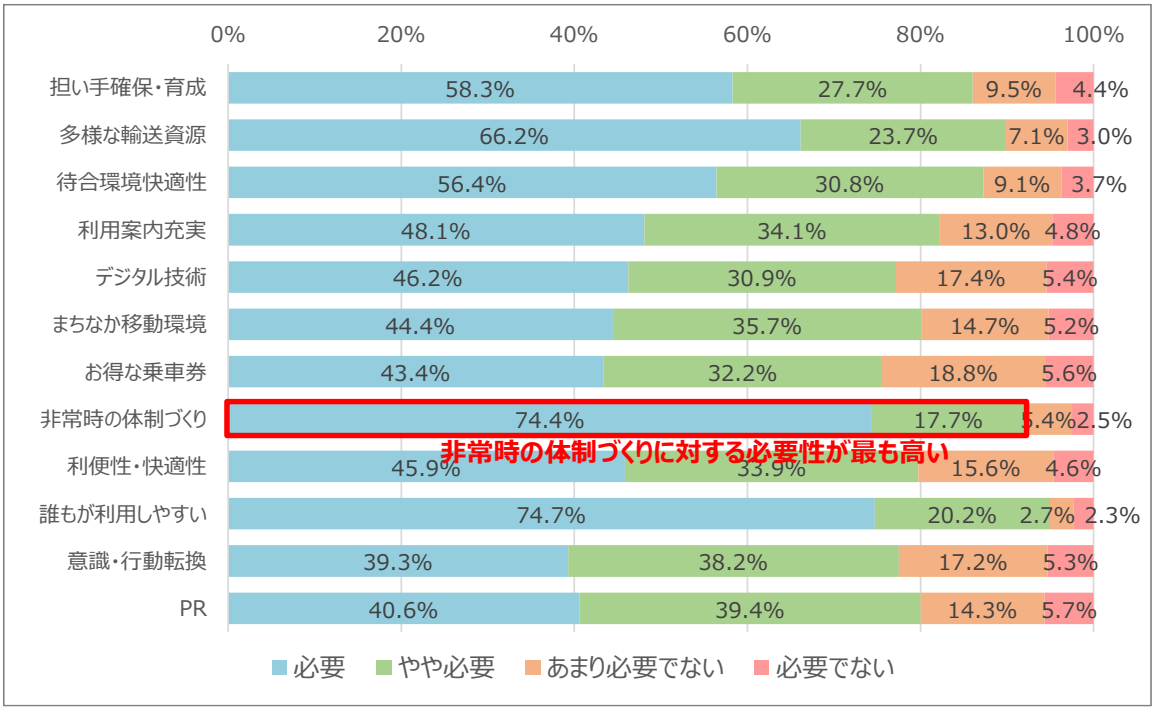
平成30年7月豪雨時における情報提供

資料：交通政策課

関係主体	交通事業者、国、岡山県、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	非常時・災害時におけるサービス提供体制の整備
事業	**①緊急事態における影響の最小化に向けた検討** BCP（事業継続計画）策定による業務の早期復旧（運休期間の最小化）や、日常的な訓練実施等により、非常時・災害時における影響を最小限に留め、非常時・災害時においても継続的にサービスを提供できる体制を整えます。

施策ごとの必要性



資料：公共交通に関するアンケート調査結果（R4）

関係主体	交通事業者
実施期間	令和５年～令和９年

目標７｜誰もが公共交通を快適に利用することができる環境の整備

取組の方向性	快適な移動環境の確保に向けたサービスレベルの向上

施策１	快適性の向上に資するサービスの提供

事業

①公共交通を快適に利用できる環境の整備

バスロケーションシステムの運用・拡大、QRコードを活用したサブスク定期券の導入等によるバス利用環境の向上や、バス車内におけるフリーWi-Fiの提供等、公共交通を快適に利用できる環境を整備します。

下電バス　バスロケーションシステム「バスまだ」

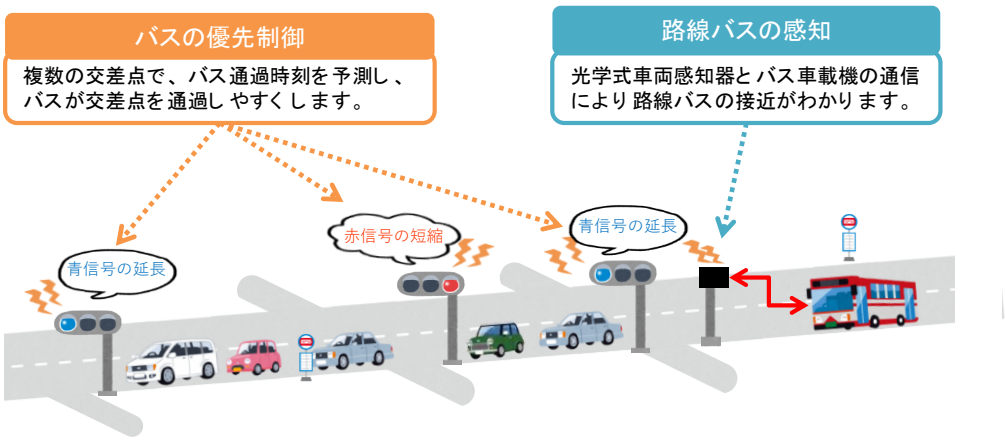
両備バス　バスロケーションシステム「Bus-Vision」

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②公共交通を優先する公共環境の整備

定時性・速達性が確保された快適な移動環境の整備に向け、専用・優先レーンの設置、バス優先信号制御等の、PTPS（公共車両優先システム）の導入を推進します。

PTPS（公共車両優先システム）のイメージ



関係主体	交通事業者、警察、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	ユニバーサルデザインの推進等による誰もが利用しやすい環境の整備

事業

①ユニバーサルデザインの推進

老朽化車両の更新に合わせたバリアフリー化車両やユニバーサルデザインタクシーの導入等により、移動の支障となるバリアを取り除き、誰もがためらうことなく快適に移動できる環境を整備します。

ユニバーサルデザインタクシー

資料：岡山交通（株）HP

ノンステップバス

資料：下津井電鉄（株）HP

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②交通弱者等に対する支援の充実

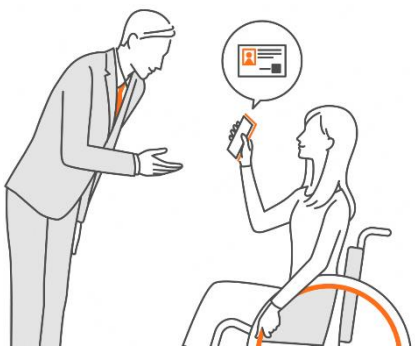
「おかやま愛カード」を活用した高齢者の運賃割引や、障がい者に対する各種支援（運賃割引制度、筆談によるコミュニケーション等）、訪日外国人の移動支援（英語対応可能なスタッフの常駐等）等を推進し、交通弱者も含めた誰もが移動しやすい環境を整備します。

資料：岡山県HP

「おかやま愛カード」提示による料金割引

資料：岡山県警HP

障がい者手帳アプリの活用



資料：ミライロID HP

関係主体	交通事業者、警察、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

目標８ ｜公共交通を守り、育てていくための情報発信

取組の方向性	利用促進に向けた効果的な情報発信

施策１	公共交通利用に対する市民の意識・行動の転換促進

事業

①各種情報発信による公共交通利用に対する意識の醸成

小中高生を対象とした公共交通の利用方法等に関するDVDの作成・配布や、ポスター・パンフレットの活用によるお得情報の発信等、公共交通の利用促進に向け、効果的な情報発信を行います。

バスの利用方法に関する動画の作成・配布

資料：バス・鉄道教室の動画

関係主体	交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

②過度な自動車利用から公共交通利用への転換の推進

MM（モビリティマネジメント）施策に関する情報収集・研究や、スマート通勤おかやまの実施、イベント実施時等における公共交通を利用した来場方法案内等により、過度な自動車依存から脱却し、公共交通利用への転換を推進します。

スマート通勤おかやま

資料：スマート通勤おかやま HP

関係主体	地域企業、交通事業者、国、岡山県、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年

施策２	イベント・沿線施設との連携等による効果的なPRの実施

事業

①各種情報提供による効果的なPR

ホームページやパンフレット、SNS等の活用、沿線住民へのポスティング等により、割引制度等の公共交通に関するお得な情報等を効果的に発信することで、公共交通の利便性や自家用車の代替交通手段としての可能性等を広く周知します。

「ピーポー車窓ガイド」の運用

関係主体	交通事業者
実施期間	令和５年～令和９年

②イベント・キャンペーン等による利用促進

企画バス・列車等の運行やマイカーでは乗入できない島でのレジャー情報の発信等、沿線施設や観光地とも連携しながら効果的なPRを行うことで、公共交通利用のきっかけづくりや新たなファンの獲得につなげます。

企画バスの運行

資料：両備グループHP

レジャー情報の発信

資料：琴参バスHP

関係主体	市民、地域企業、交通事業者、倉敷市
実施期間	令和５年～令和９年